

2021年度（令和3年度）

福山市教育委員会会議録（第6回）

【9月9日（木）開催】

福山市教育委員会

福山市教育委員会会議録（第6回）

1 招集年月日 2021年（令和3年）9月9日（木）
午後3時40分

2 場 所 教育委員室

3 出席委員 5名

出席又は欠席	席番	名 前
出席	1	三好雅章
出席	2	菅田章代
出席	3	金 仁洙
出席	4	神原多恵
出席	5	横藤田 晋

4 会議に出席した事務局職員

教育次長	佐藤元彦
管理部長	藤井紀子
学校教育部長	井上博貴
教育総務課長	久保正敬
学校再編推進室長	來山浩一郎
学校再編推進室主幹	井上誠之
学事課長	亀山貴治
学びづくり課長	本宮政尚

5 会議の書記

教育総務課総務政策担当次長	須藤 誠
教育総務課職員	中村千咲
教育総務課職員	岡田真奈

【開会時刻 午後3時40分】

- 三好教育長 それでは、ただいまから、2021年度（令和3年度）第6回福山市教育委員会会議を開会いたします。
- 三好教育長 本日の議案ですが、議第44号及び議第45号は議会提出案件のため、福山市教育委員会会議規則第13条第1項の規定により秘密会として審議し、審議の順番は公開する案件の後としたいと考えますが、御異議はございませんか。
- 全教育委員 （異議なし）
- 三好教育長 御異議なしということで、これらの案件は秘密会とし、その他の案件は公開といたします。
初めに、日程第1 教育長の報告についてです。
資料の1ページをお願いいたします。
8月30日、赤木かん子先生監修のもとで行われた、福山商業高校の学校図書館の改装が終わりました。案内いただきましたので、見に行きました。
9月1日、2学期スタートに向けてのオンラインと分散登校の組み合わせで、また、その必要がない学校は、感染対策を徹底しながらの2学期のスタートということで、4校を訪問しその状況の把握をしました。登校時からの健康観察のチェックを迎えての1時間目、オンラインでの始業式、各学級での授業のスタート、また、初めての給食の準備、片付け、午前の生徒の下校及び午後からの生徒の登校、そのあたりの状況を見ました。これは、私だけでなく、職員で分担をしまして、それぞれの学校の様子を1日、2日、3日と見ております。この間、オンラインも含めて、通常教育活動の中でさまざまにやってきておりました。しかし、改めてスタートしてみると不具合もあつたりとか、できていると思ってもいづらかトラブルがあつたりとか、そういうことをしながら子どもたちも先生たちもどんどん慣れていく時間だったと思います。1日の中でも朝と昼の時間の様子は違いますし、1日目と2日目の様子は違いますし、1週目と2週目の今週でも様子は違います。そのような中で、子どもたちも先生たちも試行錯誤をしながら、2学期をスタートしております。教育委員会としても、状況を把握しながら、必要な支援に努めているところです。
以上です。
このことについて、御意見、御質問はありませんか。
- 全教育委員 （なし）
- 三好教育長 それでは、次に、日程第2 議第43号 山野小学校、広瀬小学校及び加茂小学校並びに山野中学校、広瀬中学校及び加茂中学校の学校再編についてを議題とします。
説明をお願いします。
- 来山学校再編推進室長 2ページをお願いいたします。
議第43号 山野小学校、広瀬小学校及び加茂小学校並びに山野中学校、広瀬中学校及び加茂中学校の学校再編について、御説明いたします。
2022年度（令和4年度）としている山野小学校、広瀬小学校及び加茂小学校並びに山野中学校、広瀬中学校及び加茂中学校の学校再編については、児童生徒の新しい学校生活に向けた準備期間等を考慮し、その時期

を1年限り延期し、2023年度（令和5年度）に変更し、広瀬小学校及び広瀬中学校については、2022年度（令和4年度）から廃止するものがございます。

取組経過です。これまで、2015年度（平成27年度）に策定した「福山市小中一貫教育と学校教育環境に関する基本方針」「福山市学校規模・学校配置の適正化計画」に基づき、地域の役員や保護者と意見交換を行い、地域説明会の開催に向けて取り組んできました。これまで、教育環境と地域の活性化は分けて話し合いをするという進め方をしてきましたが、山野地域においては、今後の地域づくりを心配する思いが強い中で、そうした進め方ができませんでした。そのため、地域活性化を担当する企画財政局、市民局と連携し、教育環境だけでなく、将来を見据えた地域づくりについて、地域や保護者と協議する場を設ける方向で検討していきました。

今後の取組です。2022年度（令和4年度）から廃止となる、広瀬小学校及び広瀬中学校については、その通学区域を、加茂小学校及び加茂中学校の通学区域にそれぞれ加えます。2023年度（令和5年度）に向けて、各地域の代表と保護者の代表、各校長、管理部長で構成する開校準備委員会を設置し、新しい学校づくりに向け協議を開始していきます。また、児童生徒の個々の状況を踏まえながら、交流事業などを行うなど、不安なく新たな学校生活を送れるよう対応していきます。市長部局と連携し、今後の山野地域のあり方や再編後の教育機能について、地域や保護者と検討していくための協議の場を設置いたします。

今年度のスケジュール予定です。9月下旬以降に、各地域で地域説明会を開催いたします。なお、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、説明の方法等については、地域と相談し、決定したいと考えています。10月からは、開校準備委員会の設置・協議、児童生徒の交流事業の実施、教育課程の編成、地域・保護者との協議の場の設置を進めていきます。

説明は以上です。

三好教育長

御意見、御質問はありませんか。

菅田委員

児童生徒の新しい学校生活に向けた準備期間等を考慮し、その再編時期を1年限り延期というようになっているんですが、この1年に限って延期することで、十分子どもたちの準備期間になりえるとお考えですか。

また、どのようなことを念頭に置いて、1年限り延期ということにされたのかを教えてください。

來山学校再編
推進室長

1年延期ということで、この度ご可決いただこうと思っております。2022年度の再編ということでありましたら、残り7か月を切ったという状況の中で、事前交流や再編後のいろいろな個々の不安、思っているもの、そういったことへの対応が、期間的にも7か月を切る中では難しいというところがあります。1年延期ということで、あと約1年7か月弱となりますが、その間に、子ども一人一人の保護者の方としっかり話し合いをしながら、今後の状況をしっかりと我々の中でとらえて、子どもに合った対応をできる限りしていきたいと思っております。期間としては、1年7か月弱の中で対応できるというように考えております。

藤井管理部長

補足をさせていただきます。

これから、児童生徒の保護者の皆様と、子どもたちの状況について、話をさせていただきますと思っております。その実態も聞く中で、新しい環境に入るにあたっての準備として、事前交流のほかに、教員であったり、必要な職

	<p>員であつたりという教職員配置についても考えていきたいと思ひます。できるだけ不安を軽減して、新しい学校生活が迎えられるように、丁寧にやつていきたいと思ひます。</p> <p>以上です。</p>
菅田委員	<p>1年7か月は決して長い時間ではないので、越えていかないといけないことはたくさんあると思ひんですけど、しっかり子どもたちのことを考えて取り組んでいただけたらと思ひます。</p>
金委員	<p>取組経過の中で、地域活性化を担当する企画財政局、市民局と連携し、教育環境だけでなく、将来を見据えた地域づくりについて、地域や保護者と協議する場を設ける方向で検討してきたとありますが、設ける方向でというのは、まだ設けていなかったということで、これから設けるということですね。</p>
來山学校再編推進室長	<p>今後、2023年度に延期ということで今回のことが決定となりましたら、早急にそういう場を設けて地域の方と保護者の方と協議していきたいと思ひております。今現在は、そういう場というものは、立ち上がつてはいません。</p>
金委員	<p>今回は、来年の4月1日からは、特認校である広瀬学園小学校と中学校は開きますよと、従来の広瀬小学校と山野小学校と加茂小学校については、それとは別だから、その再編について、改めて地域説明会を開催しつつ、今後の方針を定めていくというようにしたいということですね。</p>
來山学校再編推進室長 藤井管理部長	<p>その通りであります。</p> <p>学校再編は、それぞれの学校が一緒になって新しい学校を作っていくということですので、2023年の4月に新しい学校を作るため、それに向けて3つの地域・それぞれ学校と開校準備委員会を立ち上げて、協議を始めていきます。今回は、広瀬学園の設置にあたって、広瀬小学校と広瀬中学校自体は閉校して、通学区域の整備をさせていただき、再編という形は1年後にさせていただきます。よろしくお願ひします。</p>
金委員	<p>1年間延期する中で、定めていく事項というのは、新しい学校名、校歌、校章等を定めていくということになるんですか。</p>
來山学校再編推進室長	<p>2023年度の学校再編に向けては、これまでと同じように、新しい学校名、校歌、校章等というのは決めていきたいと思ひております。開校準備委員会等の中で、決めていきたいと思ひます。</p>
金委員	<p>通学の形態については、解決しているんですか。山野から、また、広瀬の方から、加茂に通学していくわけですけども、その通学方法については、もう解決されたんですか。それとも、これから協議していくところなんですか。</p>
來山学校再編推進室長	<p>通学支援につきましても、今後、開校準備委員会において、地域の方と保護者の方としっかり話をしていきたいと思ひます。</p>
横藤田委員	<p>今地元の方が反対をされている大きな理由として、地域活性化ということがあると思ひんですが、教育委員会だけでなく、企画財政局、市民局と</p>

	<p>連携していくというのは良いことだと思います。今まで、他の学校を再編してきましたけれども、地域活性化のためにこのような連携をして、例えばどういった方策で、過去は御理解いただいたりしてきたのでしょうか。</p>
藤井管理部長	<p>再編地域の例をお伝えします。</p> <p>服部の地域で言いますと、学校が閉校になった後、地域の活性化を話し合う協議会を立ち上げました。その中で、ソフト面とハード面での地域活性化の話し合いをしてきています。</p> <p>1つは、校舎が2棟あるのですが、その南側の校舎を使って服部交流館を整備することになりました。その中で、服部らしい特徴ということで、蛍の学習ができるスペース、諸室を設けて、駅家北小学校の子どもたちが、服部地域に来た時にそこで学習ができたり、市内からも、蛍の学習がしたい子どもたちが学べる場所を作っていこうとしています。</p> <p>その部屋だけでなく、校庭にはビオトープを作ったり、服部川には水辺の環境を作ったり、蛍を中心とした環境づくりやその活動を通じた活性化というところを考えられています。</p> <p>それから、もう1棟、北側の校舎についても、まだ決まってはいませんが、何か活性化ができる方策というところで今、民間活力の導入も視野に協議をしています。</p> <p>そのほかにも、お助け事業のスタートであったり、服部の地域の方は、協議会の中でも、とても前向きな議論をされていて、地域を元気にしようと試みておられます。</p> <p>東村地域についても、今、協議会を立ち上げられて、これから学校の利活用も含めた協議をしていこうとされています。</p> <p>内海地域など想青学園の関係の地域についても、これから行政と地域とが一緒になって、こういった協議をしていく予定です。</p>
横藤田委員	<p>今、服部の例をとってお話いただきましたが、そういう良いことだと思うんですけど、それでおおむね地域の方が納得されている方向に向いているということですか。</p>
藤井管理部長	<p>まちづくりはこれからもずっと続いていくので、行政と地域が力を合わせて取り組んでいくということは、これからもずっと続けていくことになると思います。</p> <p>地域の方も、駅家北小学校をととても応援してくださっています。ただ、開校してから、コロナで、学校の様子を見ていただいたり、子どもたちの様子を見ていただくことが、なかなかできていないところが残念なので、これからもっと、地域の方と学校との交流とか、行事での交流ということも、考えていきたいと思っています。</p>
横藤田委員	<p>短期的に終わるのではなくて、長いスパンで取り組んでいくということなんですね。わかりました。</p>
三好教育長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
全教育委員	<p>(なし)</p>
三好教育長	<p>ないようですので、お諮りします。</p> <p>議第43号は、原案どおり可決してよろしいでしょうか。</p>
全教育委員	<p>(異議なし)</p>

三好教育長

御異議ないようですので、議第43号は原案どおり可決しました。
それでは、これより秘密会とします。
傍聴人は退席してください。

(傍聴人 退席)
(秘密会部分 削除)

三好教育長

予定しておりました議案は全て審議いたしました。他に何か、ありませんでしょうか。

全教育委員

(なし)

三好教育長

ないようですので、本日の教育委員会会議はこれで終わります。

【閉会時刻 午後4時20分】